

平成24年度版 中学校英語教科書内容解説資料

NEW CROWN

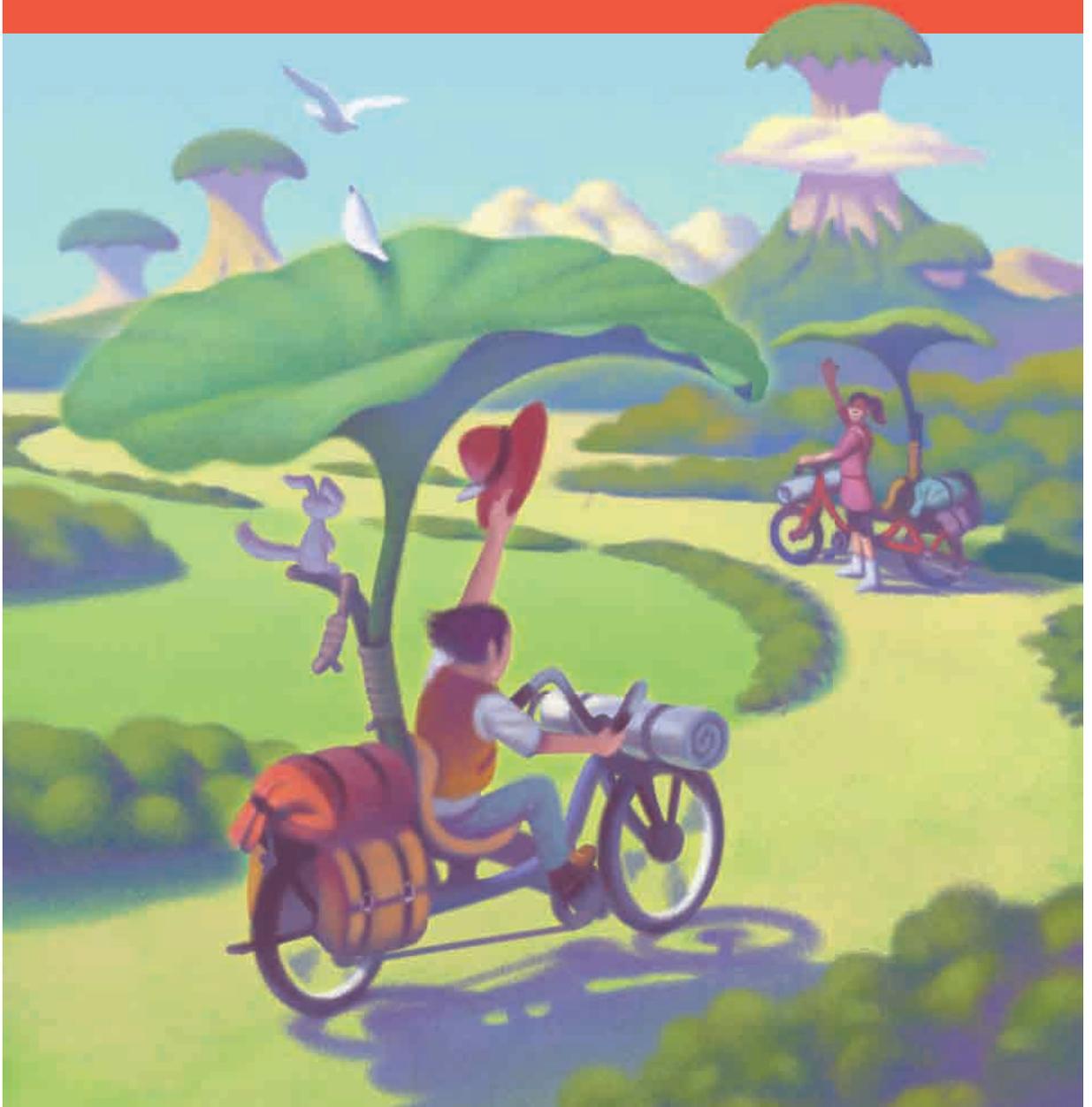


ENGLISH SERIES

1

2

3



三省堂

この資料は、社団法人教科書協会「教科書宣伝行動基準」に則って作成しております。



題材重視の伝統を継承しつつ 教えやすさと学びやすさを追求した 新しい NEW CROWN の誕生!



国際基準を見据えて一歩前進させたい

NEW CROWNの教育方針・理念へのご理解ご支持に対して心よりお礼申し上げます。このたび、新しい学習指導要領の施行に伴い、NEW CROWNのあり方を再検証するとともに、今後の日本の英語教育をも視野に入れて新版を世に問うことに致しました。

私どもは、義務教育としての英語教育はどうあるべきかを常に問い、ことばの教育、異文化理解教育、人間教育、それぞれに対して責任を果たすべきであると考えてきました。その結果、「題材のNEW CROWN」というありがたい評価を得てまいりました。

いま、世界情勢も、教育を取り巻く環境も大きく変わろうとしています。新しい学習指導要領では、とりわけ英語教育に対して大きな期待が寄せられています。私どもは、伝統を継承しつつ、教えやすさと学びやすさを追求して改訂したNEW CROWNをもって社会の期待に応えてまいれる所存です。新版によって将来を担う子どもたちの豊かな学びが実現することを願うとともに、引き続きご理解ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2011年4月

代表著者 **高橋 貞雄**

新しい NEW CROWN の約束

3つの教育目標を達成します。

英語教育を通して、確かな学力、豊かな心と、地球市民（世界市民）としての資質を備えた人間を育成するのが、NEW CROWNの使命です。その思いのもと、NEW CROWNの伝統を引き継ぎながら、3つの教育目標を設定して改訂にあたりました。

「自ら学ぶ力」を育てる

学校教育においては、集団での学習や体験の中で、自ら考え自ら学ぶことのできる人間を育成することが求められます。

特に英語という外国語の学習においては、教室における聞く・話す・読む・書くという4技能の学び合いを通して、自ら考えて学んだり応用できる力を身につけることが大切です。

生徒の発達段階や個に応じた「学び方」「わかり方」を身につけさせることで、ことばを学ぶ楽しさや喜びを与え、英語を学び続ける意欲と動機を養います。

「他とかかわる力」を育てる

英語教育で期待されることのひとつは、多様な価値観を持つ世界のさまざまな文化や、地球環境などの諸問題に自らを関係づける力をつけることです。

他とかかわって生きていくためには、自己を確立し、他を受け入れ、尊重することのできる豊かな心を育む必要があります。

また、英語の学習を通じて視野を広げ、同時に自分の考えや自分たちの文化を外に発信していくことが大切です。

人間の生き方について考え、他とかかわる経験を通して、地球市民の資質を培います。

「ことばを使う力」を育てる

英語教育は、ことばの教育です。現代社会においては、実生活で役に立つ英語力を身につけることが求められています。そのためには、語彙や文法を基本とする基礎学力を確実に身につけることで、英語を使うための基礎を養うことが何よりも大切です。

また、ことばの運用は、社会生活を営む上で非常に重要です。実生活に即して英語を使うさまざまな体験と、「ことば」の大切さや「ことば」の働きについて学んだり考えたりする活動を通して、豊かな英語の使い手を育成します。

新しい学習指導要領への不安は

●新しい学習指導要領では

教育課程上の位置づけ

- 授業時間数が週3時間から週4時間に増えます。
- 小学校の外国語活動とのスムーズな接続が求められます。

新しい学習指導要領の基本的な考え方

- 生徒が自ら主体的に学習に取り組む態度を育てることが求められます。
- 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させることが求められます。
- 習得した内容を活用し、思考力や表現力などを養うことが求められます。

【外国語科】改訂のポイント

- 「読むこと」「書くこと」を含め4技能を総合的に育成することが求められます。
- コミュニケーションを支える文法をきちんと身につけさせることが求められます。
- 語彙が900語程度から1,200語程度まで増えます。
- 発音指導は、つづりとの関係や日本語との違いに注意させることが求められます。
- 伝統文化や自然科学などを教材として取り上げることが求められます。

NEW CROWN が解決します!

●新しい NEW CROWN は

◆ 2割のページ増を実現。質・量ともに充実させました。

- ・学年ごとのレッスン数は変わりません。
- ・習得した知識・技能の活用部分と付録を充実させました。

◆ 1年冒頭部分を大幅に改訂しました。

- ・Get Readyで小学校外国語活動の内容をふり返り、生徒の足並みを揃えます。
- ・LESSON 1~3で音声から文字へのスムーズな移行ができます。

◆ 自学自習できる工夫を随所に配置しました。

- ・シラバスや各レッスンのねらいを提示して、計画的に学習ができるようにしました。
- ・「辞書の使い方」「つづりと発音」「いろいろな単語」などを配置。自ら学ぶ力を養います。

◆ ページごとのねらいが明確なレッスン構成にしました。

- ・レッスン前半の習得部分 (GET) で基礎的・基本的な知識・技能を習得します。
- ・レッスン後半の活用部分 (USE) で習得したものを活用します。

◆ USE Read を新設し、さらに各段階の言語活動で「書く」活動を強化。

- ・4技能が総合的に育めるように、バランスよく活動を配置しました。
- ・学期に1回の頻度で、技能統合型の活動も配置しました。

◆ 「導入 → 繰り返し使う → 整理」の流れで確かな文法力をつけます。

- ・言語活動を通して、文法を定着させます。
- ・「絵でわかる英語のしくみ」では、関連する文法事項をまとめ、日本語との違いにも触れています。

◆ 各レッスンに Word Corner を新設。

- ・活用を通して、語いを習得できるように工夫しました。
- ・最重要語、重要語、その他の語の3段階に分けて、学習のしやすさを重視しました。

◆ 各レッスンのSOUNDSを充実させました。

- ・日本語の音声との違いや、発音とつづりなどについて、タスクを通して、気づいていきます。
- ・巻末「つづりと発音」で、母音と子音に分けて英語の音を整理します。

◆ 各学年に「伝統文化」「自然科学」の題材を配置しました。

- ・題材のバランスを改善するため、以下の7領域を考慮して配置しました。

①学び ②ことば ③伝統文化(日本文化) ④異文化理解 ⑤自然理解 ⑥社会理解 ⑦人間理解

教えやすさ, 学びやすさを追求し, 大改訂! 新しい NEW CROWN です!

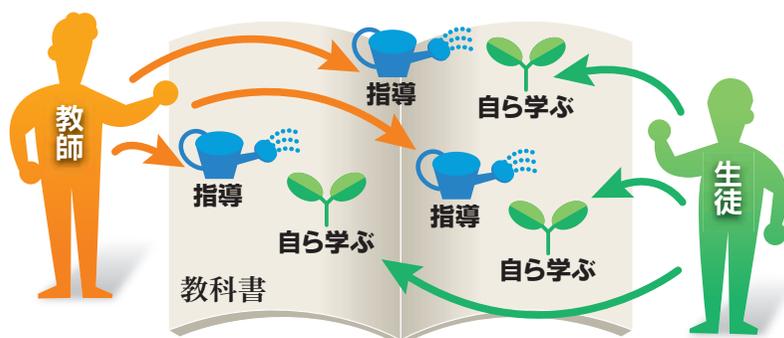
学びのプロセスを重視したLESSON構成にしました!

●レッスンの中で学習事項を繰り返し学んでいき, 確かな力を育みます。



生徒の自立した学習を促す工夫を 随所に散りばめました!

●指導と学習が相補って, 確かな力を育みます。



本冊子のページ

レッスン構成	8
見通し とびら	9
習得 GET	10
活用 USE①	12
USE②	14
USE③	16
確認 まとめ	18
自立的学習のサポート	34

小学校外国語活動とのスムーズな接続!

●小学校外国語活動を踏まえた体験から中学校の学習に入っていきます。

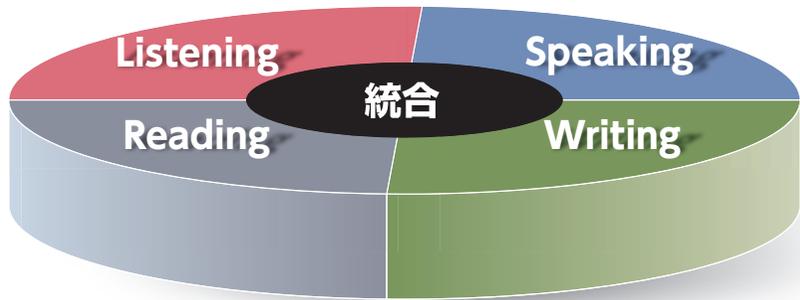


Get Ready 1	28
Get Ready 2~4	30
LESSON 1~3	32

初版以来33年の伝統を継承! 安心の NEW CROWN です!

4技能を総合的にバランスよく育成します!

●技能統合型の活動も配置しました。



題材の NEW CROWN は健在です!

●好評の題材は継承しました。



●生徒の知的欲求を満たす新しい題材を積極的に発掘しました。



サポート体制の充実!

●指導書・教材などが授業をサポートします。

4技能のバランス 20

こだわりの題材① 22

こだわりの題材② 24

こだわりの題材③ 26

語い数・指導時数・
文法の配列 36

指導書・指導用教材・
生徒用教材 38

レッスン構成

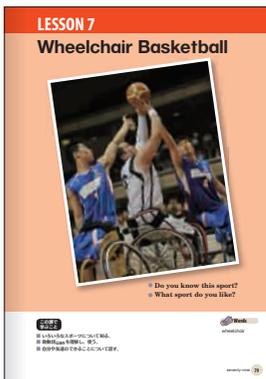
1年 LESSON 7以降のページ構成は、以下のようになっています。

● 教えやすく、学びやすいレッスン構成です。

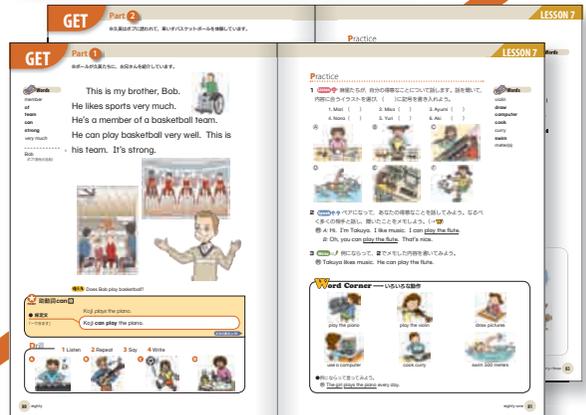
- ・各ページの役割を明確にして、学習のねらいをわかりやすくしました。
- ・英語を身につけるための手順がわかりやすいレッスン構成です。

見通しを立てる

基礎・基本を習得する



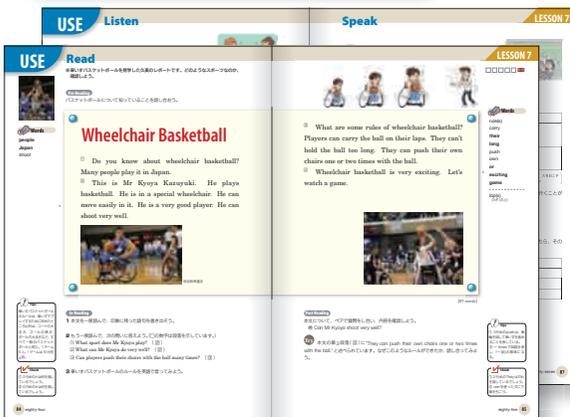
*詳しくはp.9へ▶▶▶



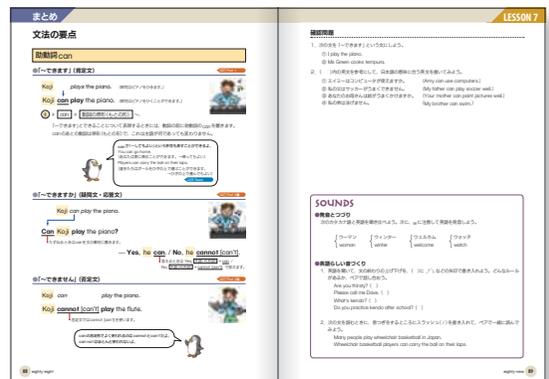
*詳しくはp.10~11へ▶▶▶

習得したものを活用する

身につけたことを確認する



*詳しくはp.12~17へ▶▶▶



*詳しくはp.18~19へ▶▶▶

見通しを立てる

とびら

ここからp.19まで、1年
LESSON 7の各ページを
詳しく紹介します。

● レッソンの「とびら」では、学習の見通しを立てます。

・これから学ぶ内容への動機づけと、レッスンのねらいの確認をするページです。

LESSON 7

Wheelchair Basketball



- Do you know this sport?
- What sport do you like?

この課で
学ぶこと

- いろいろなスポーツについて知る。
- 助動詞 can を理解し、使う。
- 自分や友達のできることについて話す。

 Words
wheelchair

seventy-nine 79

トピックに関連の深い
写真が生徒の興味・
関心を高め、レッス
ンへのスムーズな導
入を図ります。

写真やトピックに関
連した英語での問い
かけの例です。
簡単なオーラル・イ
ンタラクションにつ
ながります。

レッスンの目標が3つ
示されます。

- 「題材」
- 「言語材料」
- 「言語活動」

のねらいにあたります。

基礎・基本を習得する

GET

● 基礎的・基本的な知識・技能を習得します。

● 文法や基礎的な技能などの重要事項は、GETのページでひとつおりのカバーできます。

GETのページの本文は、短く明解な内容なので、新出文法や語いの学習に力を注ぐことができます。

Words (新語欄) では、この線より上が学習対象語です。(3年間で約1,200語。) 最重要語には太字を使っています。

Q&Aでは、簡単な英問英答で内容理解を確認します。

ターゲットとなる文(基本文)のしくみを、既習文との対比で理解します。

基本的な英文を「聞き」「繰り返し」「発話し」「書き留める」ことで、文のしくみを徹底的に身につけます。

リスニング・スクリプト

- A. Koji can play the piano.
- B. Tom can play the guitar.
- C. Miki can play soccer well.
- D. Amy can draw pictures well.

基本文は、Aのイラストを表す英文です。

GET

Part 2

● 久美はボブに誘われて、車いすバスケットボールを体験しています。

GET

Part 1

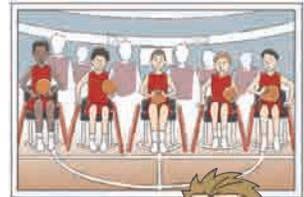
● ボールが久美たちに、お兄さんを紹介しています。

Words

member
of
team
can
strong
very much

Bob
ボブ(男性の名前)

This is my brother, Bob.
He likes sports very much.
He's a member of a basketball team.
He can play basketball very well. This is his team. It's strong.



Q&A Does Bob play basketball?

★ POINT 助動詞 can

● 肯定文
「～できます」

Koji plays the piano.

Koji **can play** the piano.

文法の要点 p.88

Drill

- 1 Listen 2 Repeat 3 Say 4 Write

A



B



C



D



GETの標準的な授業時間は、1見開きで2時間です。

●ターゲットとなる文のしくみを学び、練習します。

Drillで身につけた文のしくみを簡単な文脈の中で活用し練習します。「聞く」「話す」「書く」力を総合的に伸ばします。Listenで聞いた英文を参考に、Speakでやり取りし、Writeでその英文を書き留めます。

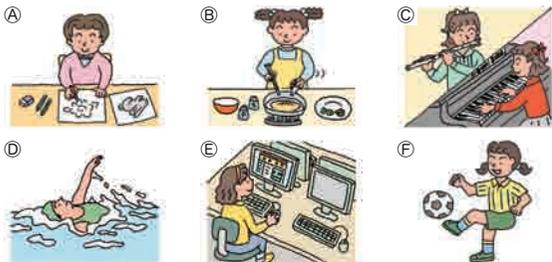
LESSON 7

LESSON 7

Practice

1 Listen 麻里たちが、自分の得意なことについて話します。話を聞いて、内容に合うイラストを選び、()に記号を書き入れよう。

1. Mari () 2. Misa () 3. Ayumi ()
4. Nana () 5. Yuri () 6. Aki ()



Words

- violin
- draw
- computer
- cook
- curry
- swim
- meter(s)

2 Speak ペアになって、あなたの得意なことを話してみよう。なるべく

- 多くの相手と話し、聞いたことをメモしよう。(→W)
- 例 A: Hi. I'm Takuya. I like music. I can play the flute.
B: Oh, you can play the flute. That's nice.

3 Write 例にならって、2でメモした内容を書いてみよう。

- 例 Takuya likes music. He can play the flute.

リスニング・スクリプト

No.1
Mari: Hi. I'm Mari. I like music. I can play the flute. I can play the piano too.

No.2
Misa: Hello. I'm Misa. I like sports very much. I can play soccer very well.

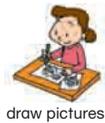
No.3
Ayumi: Hello, everyone. My name is Ayumi. I like art. I can draw beautiful pictures.

以下略

Speakの活動では、Word Cornerの語いを活用できます。

まとめのページとのリンクがひと目でわかります。

Word Corner → いろいろな動作



●例にならって言ってみよう。

- 例 The girl plays the piano every day.

基礎的な語いをジャンルごとにまとめて補充します。イラストや簡単な活動を通して、活用しながら語い力を増強します。

習得したものを活用する① — 読む

USE Read

- GETで身につけた知識を活用して、長文を読む力を育みます。
・文法はGETですでに指導していますので、ここでは読む活動に集中できます。

現実的な場面設定で「読み」の目的を明確化します。

3段階のリーディング・タスクが読みをサポートします。

- ① Pre-Readingの活動で読むことへの動機を高め、背景知識を活性化させます。
- ② In-Readingの設問に答えることで、概要から詳細への読解の手順が自然と身につきます。
- ③ Post-Readingに取り組むことで英文を再度読み返し、読んだことについて考えたり、自分に引き寄せてとらえ直すことを促します。

Tipsでは、簡単な語法説明、および内容理解に役立つ背景知識を補います。

Checkでは、代名詞などの指す内容を確認したり文法のふり返りをします。

USE



Words
people
Japan
shoot

Read

- 車いすバスケットボールを見学した久美のレポートです。どのようなスポーツなのか、確認しよう。

Pre-Reading

バスケットボールについて知っていることを話し合おう。

Wheelchair Basketball

- ① Do you know about wheelchair basketball? Many people play it in Japan.
- ② This is Mr Kyoya Kazuyuki. He plays basketball. He is in a special wheelchair. He can move easily in it. He is a very good player. He can shoot very well.



京谷和幸選手

In-Reading

- 1 本文を一度読んで、印象に残った語句を書き出そう。
- 2 もう一度読んで、次の問いに答えよう。(□の数字は段落を示しています。)
(1) What sport does Mr Kyoya play? (②)
(2) What can Mr Kyoya do very well? (②)
(3) Can players push their chairs with the ball many times? (③)
- 3 車いすバスケットボールのルールを英語で言ってみよう。

Tips

車いすバスケットボールのルールは、車いすでプレイするために改めたところ以外は、コートの大きさ、ゴールの高さ、ボールの大きさなど、すべて一般のバスケットボールと同じ。1チーム5人。1ゲームは10分を4回。

Check

- ① 2行めのitは何を指しているでしょう。
- ② 5行めのitは何を指しているでしょう。

USE Read の標準的な授業時間は、見開きで2時間です。

● 読んだ内容をもとに考え、判断し、表現するタスクが豊富です。

・タスクに答えながら読み進め、読解を深めます。すべてを訳す必要はありません。

本文のジャンルは、メールや新聞、ガイドブック、ウェブサイトなど、パラエティに富んでいます。

本文の音読などを1回行うごとに1マスずつぬりつぶしていきます。

語数の目安です。1年生では100語程度から始め、3年生では最終的に300語程度の英文に取り組みます。

LESSON 7



What are some rules of wheelchair basketball? Players can carry the ball on their laps. They can't hold the ball too long. They can push their own chairs one or two times with the ball.

Wheelchair basketball is very exciting. Let's watch a game.

Words

rule(s)
 carry
their
long
 push
 own
 or
exciting
game

lap(s)
 ひざ(の上)



[87 words]

Post-Reading

本文について、ペアで質問をし合い、内容を確認しよう。

Can Mr Kyoya shoot very well?

Try 本文の第3段落(国)に“they can push their own chairs one or two times with the ball.”と述べられています。なぜこのようなルールができたか、話し合ってみよう。

選択的な扱いの **Try** は、推論などによりさらに読みを深めるタスクで、PISA型読解力に対応しています。

Tips

- ① 3行めのpushは、車輪を回して進め進むことを表している。
- ② ~ times で回数を表し、[~回]の意味になる。

Check

- ① 2行めのTheyはだれを指しているでしょう。
- ② canを使った文に下線を引こう。

LESSON 7 USE Read ワークシート Class _____ No. _____
Name _____

Pre-Reading

バスケットボールについて、知っていることあげてみよう。

★1チームの人数は? _____人

★得点の方法は? _____

★ゲームの中で禁止されていることは? _____

★ほかにどんなルールを知っていますか? _____

★バスケットボールをあげてみよう。

単語ワークシート Class _____ No. _____
LESSON 7 USE Read Name _____

★LESSON 7 USE Read の単語です。確認しよう。

日本語	英語
人々	people
日本	Japan
シュートする	shoot
規則、ルール	rule
運ぶ	carry
彼らの、彼女たちの	their
(時間が) 長く	long
押す	push
自分(自身)の	own
または	or
興奮させる	exciting
試合	game
ひざ(の上)	lap

新出語を確認する「単語ワークシート」と、読みをサポートする「USE Read ワークシート」を、教師用指導書に用意します。

習得したものを活用する② — 聞く・話す・書く

USE Listen, Speak, Write

- GETで身につけた知識を活用して、聞く・話す・書く力を育みます。
 - ・GETで身につけた文法を使って活動します。新規の文法事項や覚えるべき単語は出てきません。
 - ・実態に応じて、オリジナルの活動を追加したり、置き換えたりして使うことができます。

リスニング・スクリプト

1, 2
 Naoki: This is Ms Matsumoto.
 Nancy: Oh, her dog is so cute. Is it her pet?
 Naoki: No, it's not her pet. It's her assistance dog.
 Nancy: Assistance dog?
 Naoki: Yes. The dog helps Ms Matsumoto. The dog's name is Mio.
 Nancy: What can Mio do for Ms Matsumoto?
 Naoki: Well, Ms Matsumoto can't hear.
 Nancy: Can the dog hear for her?
 Naoki: In a way, yes. For example, the doorbell rings. Then Mio runs and touches Ms Matsumoto. In this way the dog tells her, "Someone is at the door."
 Nancy: I see. Mio is Ms Matsumoto's 'ear'. Mio is a good dog.
 Naoki: Yes, she really is. She knows sounds too. She knows Ms Matsumoto's name. Someone says, "Matsumoto-san." Then Mio touches her hand.
 Nancy: That's wonderful. Assistance dogs can help people in many ways!
 Naoki: That's right. But remember. These dogs are not pets. They help people in special ways.

USE Listen

補助犬について知ろう



● 補助犬 (assistance dog) について、ナンシーと直樹が話します。

1 会話を聞いて、内容に合うものはTに、間違っているものはFに✓を入れよう。

- ① 補助犬はペットである。 T F
- ② 補助犬の名前はミオである。 T F
- ③ 松本さんは耳が不自由である。 T F
- ④ 補助犬は松本さんの目の役割をしている。 T F



(pet ペット help 助ける hear 聞く
 tell 教える someone だれか)

2 会話の中で、松本さんの補助犬は何ができると言われていますか。できると言われているものに○をつけよう。



()



()



()



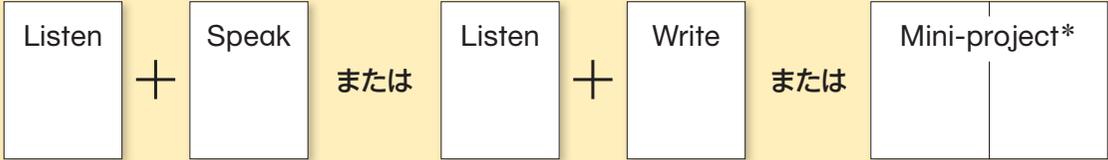
()

3 1, 2で聞いた内容をもとに、松本さんの補助犬を英語で紹介しよう。 統合

Ⓜ This is Ms Matsumoto's assistance dog. The dog's name is ...

Try ハンディキャップをもった人たちがよりよく暮らせるように、自分ができることについて考え、英語で書いてみよう。

USEの後半は、次の3つのパターンのうちの1つになります。



これらの活動のページの標準的な授業時間は、1ページ1時間です。

*詳しくは p.16~17へ

Write

LESSON 9

Speak

LESSON 7

何ができますか？



●友達に、できること・できないことをたずねて、無人島と一緒にいく仲間を探そう。

1 由希とジョンの会話を聞いて、聞き取った内容をメモしよう。

	できること	できないこと
 由希		
 ジョン		

○由希はジョンに何とたずね、ジョンはどう答えていたか、確認しよう。 (make a fire 火をおこす / knife ナイフ)

2 あなたは無人島に行くことになりました。ボートは4人乗りなので、あと3人まで一緒に行くことができます。一緒にいく仲間を探そう。

(1) どんなことができる人と一緒にいきたいですか。3つまで✓を入れよう。

- cook well climb trees swim fast
 make a fire use a knife play the guitar

(2) (1)で✓を入れたことを表に書き、できるかどうか友達に聞いてみよう。できると答えたら、その友達の名前を表に書き入れよう。

Can you ~?	できると答えた友達の名前

3 自分や友達のできることをみんなの前で紹介しよう。 (総合)

☞ Yuki can cook well. I can't cook well. But I can play the guitar.

Try 発表したことを書いてまとめてみよう。



リーティングカードと写真が届きました。受

er in
ittle
a lot
nter
rs,
sica



Center クネディ宇宙センター Florida フロリダ
onaut 宇宙飛行士 space 宇宙 someday いつか

カードを書いてみよう。
しながら書いてみよう。

]
]
]
いてみよう。

習得したものを活用する③ — 複数の技能を統合的に活用する

USE Mini-project

- 学年に3回、それまでの集大成として表現活動を行います。
● プロジェクト型の活動では、大きな活動目標に向かってじっくりと取り組みます。

リスニングから入ることでスムーズに活動が始められます。

リスニング・スクリプト

A student from China:

I go to school in Shanghai, China. Our school year starts in September. The school year has two parts: fall and spring. Many schools start at 8:00. We have seven or eight classes every day. We have four classes in the morning and three or four in the afternoon. We have a long time for lunch. Some students eat lunch at home. Others stay at school and sleep a little.

A student from Australia:

I go to school in Sydney, Australia. Our school year starts in January or February, fall in Australia. My school year has four parts. Each part is about ten weeks long. The fall and winter parts end in July. Then we have winter vacation. We start again in August, our spring. The school year and our school work ends in December. Then we have a long summer vacation with no homework for most of December and January. I like summer!

USE Mini-project

ホームページを作ろう

● 自分たちの学校を海外の人たちに紹介しよう。

- 1 Listen** 自分たちの学校を海外の人たちに紹介するために、ホームページを作ることにしました。海外の学校とちがうところを紹介したいので、同じ町に住んでいる中国とオーストラリア出身の留学生から、それぞれの国の学校生活について聞きます。よく聞いて、日本と異なる点をメモしよう。

 中国	 オーストラリア

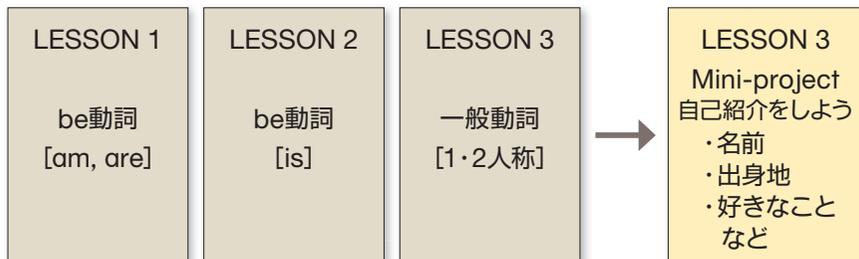
- 2 Write** 右ページはある中学校のホームページです。それぞれの写真には、どのような説明を加えたらよいでしょうか。写真を2つ以上選び、1で聞いたことや例を参考にしながら書いてみよう。

写真	説明文
例) ⑥	タイトル: Graduation Ceremony In our school, we have a graduation ceremony in March. In this picture, students are saying goodbye.
	タイトル:
	タイトル:

IDEA BOX

entrance ceremony 入学式 school trip 修学旅行 sports day 運動会
 one-day camp 野外学習 chorus contest 合唱コンテスト graduation ceremony 卒業式
 walk 歩く enter ~ ~に入場する gym 体育館 visit ~ ~を訪れる
 run 走る hike 山歩きをする cook 料理をする sing 歌う
 take a picture 写真を撮る listen to the tour guide ツアーガイドの話聞く
 clap hands 拍手する say goodbye 別れのあいさつをする

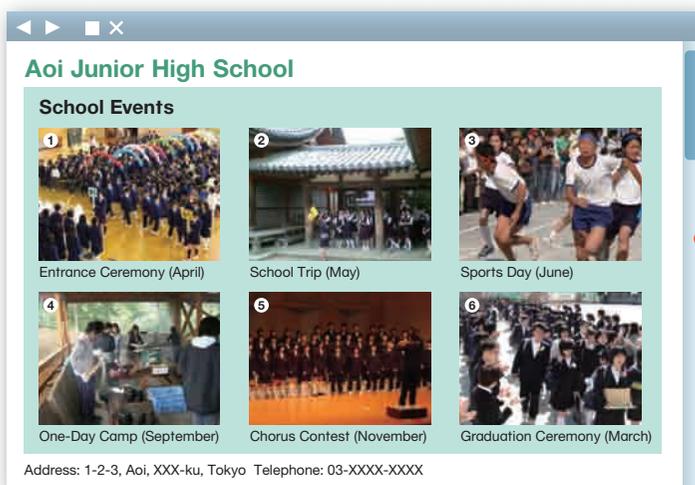
例 1年 (直前に習った文法が活用でき、達成感が得られます。)



Mini-project の標準的な授業時間は、見開きで2時間です。

LESSON 8

統合



技能を統合的に扱った活動には 統合 のマークがついています。
*統合的な活動は, Listen, Speak, Writeにもあります。

より実生活に近い設定の中で、リアリティのある使用場面を演出します。

聞いた内容をもとに考えて書くなど、複数の技能を一連の活動の中で使用する「統合的な活動」が含まれています。

3 Speak 上のホームページ例を参考に、あなたの学校の行事を説明しよう。行事の写真などを用意し、できるだけたくさん紹介文を考えよう。そのとき、以下の3点を伝えよう。

- ① 行事は何か ② いつ行われるか ③ 何をしている場面か

4 Write 行事の中から、ホームページで紹介したいものを1つ選び、英文を書いてみよう。絵や写真を用意して、行事の様子がよくわかるように工夫しよう。

絵または写真	タイトル: _____ _____ _____ _____ _____
--------	---

活動に役立つ語い・表現は、未習・既習にかかわらず IDEA BOXで紹介します。
*必修でない単語も含まれます。

Try みんなの書いた英文を集め、あなたの学校を紹介するホームページを作ってみよう。

身につけたことを確認する

まとめ

● レッスン末の「まとめ」では、その課で学んだ内容をふり返ります。

・先生の板書のように、ポイントを簡潔にまとめてあります。授業でも家庭学習でも活用できます。

英文のしくみや文構造を図解で視覚的にとらえます。レッスンのターゲットとなる文法をシンプルな例文で示し、日本語訳やイラストが理解をサポートします。

ペンギンのキャラクターが文法を学ぶときのヒントや間違いやすいポイントなどをやさしく教えてくれます。

本文ページへのフィードバックです。わからない文法事項は繰り返し学習できます。

まとめ

文法の要点

助動詞 can

●「～できます」(肯定文)

GET Part 1

Koji *plays* the piano. (耕司はピアノをひきます。)

Koji **can play** the piano. (耕司はピアノをひくことができます。)

(主) + **can** + **動詞の原形(もとの形)** ~.

「～できます」とできることについて表現するときには、動詞の前に助動詞の can を置きます。can のあとの動詞は原形(もとの形)で、これは主語が何であっても変わりません。



can で「～してもよい」という許可も表すことができますよ。
You can go home.
(あなたは家に帰ることができます。→帰ってもよい)
Players can carry the ball on their laps.
(選手たちはボールをひざの上で運ぶことができます。→ひざの上で運んでもよい)

USE Read

●「～できますか」(疑問文・応答文)

GET Part 2

Koji *can play* the piano.

Can Koji **play** the piano?

↓ たずねるときは can を文の最初に置きます。

— Yes, he **can**. / No, he **cannot** [can't].

↓ 答えるときは Yes, **主語(代名詞)** + **can**. / No, **主語(代名詞)** + **cannot** [can't]. で答えます。



●「～できません」(否定文)

GET Part 2

Koji *can* *play* the piano.

Koji **cannot** [can't] **play** the flute.

↓ 否定文では cannot [can't] を使います。



can の否定形でよく使われるのは cannot と can't だよ。
can not はほとんど使われないよ。



基本文のほか、重要な表現についても取り上げ、ていねいに解説を加えています。

● 英文や発音のしくみが直感的にわかるページです

・コミュニケーションを支える文法と発音の知識は、このページで整理できます。

LESSON 7

確認問題

- 次の文を「～できます」という文にしよう。
 - I play the piano.
 - Ms Green cooks tempura.
- ()内の英文を参考にして、日本語の意味に合う英文を書いてみよう。

① エイミーはコンピュータが使えますか。	(Amy can use computers.)
② 私の父はサッカーがうまくできません。	(My father can play soccer well.)
③ あなたのお母さんは絵がうまくかけますか。	(Your mother can paint pictures well.)
④ 私の弟は泳げません。	(My brother can swim.)

文法や文構造の理解と定着を確認問題でチェックします。最低限の知識の習得が確認できます。

SOUNDS

● 発音とつづり

次のカタカナ語と英語を聞き比べよう。次に、wに注意して英語を発音しよう。

{ ウーマン	{ ウィンター	{ ウェルカム	{ ウォッチ
{ woman	{ winter	{ welcome	{ watch

● 英語らしい音づくり

- 英語を聞いて、文の終わりの上げ下げを、()に ↑ ↓ などの矢印で書き入れよう。どんなルールがあるか、ペアで話し合おう。

Are you thirsty? ()

Please call me Dave. ()

What's kendo? ()

Do you practice kendo after school? ()
- 次の文を読むときに、息つぎをするところにスラッシュ(/)を書き入れて、ペアで一緒に読んでみよう。

Many people play wheelchair basketball in Japan.

Wheelchair basketball players can carry the ball on their laps.

音のしくみについてはSOUNDSで整理します。「発音とつづり」では、英語の音素とそれを表す文字との関係を意識する活動に取り組みます。「英語らしい音づくり」では、リズムやイントネーション、強勢など、より大きな視点から英語の音声への気づきを促します。

SOUNDSは指導用CDの音声に対応しています。

4技能のバランス

「聞く」「話す」「読む」「書く」

● 1年の LESSON 1 から4技能を扱っています。

LESSON 1 I am Tanaka Kumi

GET Part 1

●中学での生活が始まり、友達たちが他のクラスメートとあいさつをしています。

●聞いてみよう 食話を聞いて、だれとだれがあいさつしているのか、線で結ぼう。

●「私は〜です」 I am Tanaka Kumi.

この場で学ぼう

- 高いでつづき方を覚える。
- am / are を理解し、使う。
- 自己紹介をしたり、友だちや彼/彼女を伝えたりする。

Kumi: Hello, I am Tanaka Kumi.
Paul: Excuse me?
Kumi: Kumi. K-U-M-I.
Paul: Kumi. I am Paul. Paul Green.
Kumi: Nice to meet you, Paul.
Paul: Nice to meet you too, Kumi.

Words

nice to meet you
Excuse me?
Nice to meet you

Paul Green
名前: パウル・グリーン
Emma Simmons
名前: エマ・シモンズ
Yang Meiling
名前: ヤンメイリン

●聞いてみよう ④ ペアになり、例にならってあいさつしよう。そして相手の名前をメモしよう。

例 A: Hello. I am Ken, K-E-N.
B: Hello. I am Emma, E-M-A.

●書いてみよう 下の例にならって、大文字・小文字に注意し、自分の名前を紹介する文を書いてみよう。

I am Tanaka Kumi.

●書く ●自分の名前がどう書かれるかを知る。

●読む ●自分の名前がどう書かれるかを知る。

読んでみよう

聞いてみよう

話してみよう

書いてみよう

● 1年の LESSON 4 以降では4技能を繰り返して練習します。

GET Part 1

●ボールが欠陥たちに、お兄さんを紹介しています。

Words

member
dit
team
can
strong
very much

Bob
ボブ(男の子)

This is my brother, Bob.
He likes sports very much.
He's a member of a basketball team.
He can play basketball very well. This is his team. It's strong.

●聞いてみよう ④ Does Bob play basketball?

●書く ●Koji plays the piano.
●読む ●Koji can play the piano.

Drill

1 Listen 2 Repeat 3 Say 4 Write

Practice

1 ●聞く ●友達たちが、自分の得意なことについて話します。話を聞き、内容が合うイラストを選び、() に記号を書き入れよう。

1. Man () 2. Miss () 3. Ayumi ()
4. Nana () 5. Yuki () 6. Ken ()

2 ●聞く ●ペアになって、あなたの得意なことを話してみよう。なるべく多く相手の話し、聞いたことをメモしよう。(→W)

例 A: I'm Takuya. I like music. I can play the flute.
B: Oh, you can play the flute. That's nice.

3 ●聞く ●例にならって、2でメモした内容を書いてみよう。

例 A: I like music. He can play the flute.

Word Corner — いろいろな動作

●例にならって書いてみよう。

例 The girl plays the piano every day.

Practiceでは、文脈のある英文を「聞く」活動から始め、「話す」「書く」で、自己表現への基礎を固めます。

Drill の
1 Listen 2 Repeat
3 Say 4 Write では、
「聞く」「話す」「書く」
のドリル練習をします。

Listen

Speak

Write

の総合と統合

学年ごとや3年間通しての4技能のバランスは、別紙の「指導・学習内容一覧」でご確認ください。

習得した事項を活用して言語活動を行います。

・GETで身につけた文法事項を繰り返し活用しながら、さらなる定着を図ります。

Read Listen Speak Writeでは、示した技能以外の活動も取り入れ、全体を通してバランスをとっています。

USE Read

Wheelchair Basketball

Do you know about wheelchair basketball? Many people play it in Japan. This is Mr Kyoya Kuroki. He is in a special wheelchair. He can move easily in it. He is a very good player.

What are some rules of wheelchair basketball? Players can carry the ball on their laps. They can't hold the ball too long. They can push their own wheelchair.

USE Listen

補助犬について知ろう

補助犬(assistance dog)について、クイズに挑戦しましょう。

- 補助犬を飼って、再会しようという目的で、聞いておくべきことを記入しよう。
- 補助犬の名前を記入しよう。
- 補助犬は犬の子供を育てる。
- 補助犬は視覚障害者の視覚を助ける。

LESSON 7

Speak

何ができますか？

自分の得意なことを友達に話そう。

Can you...? (Yes/No)

LESSON 9

Write

カードを送ろう

友達に手紙を送ろう。

Dear my friends,

In August I went to Kennedy Space Center in Florida with my family. I saw a space shuttle there. It looked so cool. I learned a lot about space. I had a very good time. Please come and visit Kennedy Space Center someday.

Yours,
Junpei

自然な流れのある、統合的な言語活動を行います。

・日常生活で普段行っている、聞いたり読んだりして得た情報を使い、話したり書いたりします。

Mini-projectでは、大きな活動目標に向かって、複数の技能を使い、じっくりと取り組みます。

USE Mini-project

ホームページを作ろう

自分たちの学校を海外の人たちに紹介しよう。

- 自分たちの学校を海外の人たちに紹介するために、ホームページを作ることにしました。海外の学校とつながりをもたせよう。同じ国に住んでいる国とオーストラリアの国を相手から、それぞれの国の学校生活について調査を、よく聞いて、日本と異なる点をメモしよう。
- ホームページがある中学校のホームページです。それぞれの写真には、どのような説明を加えたいでしょうか。写真を2つ以上選び、1で聞いたことや調べた情報を参考にしながら書いてみよう。

IDEA BOX

entrance ceremony 入学式 school trip 修学旅行 sports day 運動会
 one-day camp 野外学習 chorus contest 合唱コンテスト graduation ceremony 卒業式
 walk 歩く enter 入る meet 会う
 run 走る hike 山歩きをする cook 料理をする sing 歌う
 take a picture 写真を撮る listen to the tour guide ツアーガイドの話を聞く
 clap hands 拍手をする say goodbye 別れのあいさつをする

LESSON 8

Aoi Junior High School

School Events

Entrance Ceremony (April) School Trip (May) Sports Day (June)
 One-Day Camp (September) Chorus Contest (November) Graduation Ceremony (March)

Address: 1-2-3, Aoi, XXX-XX, Tokyo. Telephone: 03-XXXX-XXXX

3. 上のホームページを参考に、あなたの学校の行事を説明しよう。行事の写真などを掲載し、できるだけたくさん紹介できるようにしよう。そのとき、以下の3点を伝えよう。

4. 行事の中から、ホームページで紹介したいものを1つ選び、英文を添えて、絵や写真を添えて、行事の様子がよくわかるように工夫しよう。

みんなの書いた英文を集め、あなたの学校を紹介するホームページを作ってみよう。

統合
技能を統合的に扱った活動にはこのマークがついています。

人間・社会を考える

3年 | I Have a Dream (L.6)



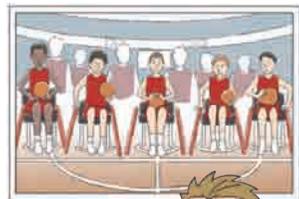
公民権運動を率いたキング牧師の生涯を通して、アメリカ社会と人権問題について考えます。



1年 | Wheelchair Basketball (L.7)



車いすバスケットボールを通して、さまざまな人々がいっしょに暮らせる社会について考えます。



1年 | My School (L.2)



ALTの先生に、学校を紹介します。図書室で、英語と漢字を合わせた書道の本を見つけます。

1年 | Our New Friend from India (L.5)



インドからやってきた新しいクラスメートのラージが、カバディというスポーツを紹介します。

3年 | The Story of Sadako (L.4)



広島で被爆した佐々木禎子さんの物語。折り鶴にこめた願いは友人たちへ、世界へと伝わります。

NEW CROWN では、生徒の知的好奇心・関心・発達段階に合った題材を配置しています。ことばや文化への関心を高め、多様な社会に生きる人々のアイデンティティを尊重する姿勢を培います。

異文化を知る

1年 | My family in the UK (L.6)



ALTのブラウン先生が、故郷の家族とスコットランドについて紹介します。



2年 | Uluru (L.6)



オーストラリア中央部のウルル（エアーズロック）。その文化的意味から異文化の尊重を考えます。



2年 | Aloha! (L.1)



ハワイに住むおばを訪ねたポールが、体験したフラ（踊り）の伝統文化について報告します。

3年 | Houses and Lives (L.5)



住まいには、その地域の風土と文化が表れます。日本、中国、モンゴルの家について紹介します。

伝統文化を愛する

1年 | I Like Kendama (L.3)

好きなものを紹介し合います。けん玉、剣道、三味線などの日本らしいものが登場します。



3年 | Rakugo Goes Overseas (L.3)



日本の伝統話芸を海外に発信する英語落語家の取り組みについて、インタビュー形式で紹介します。



1年 | Four Seasons in Japan (L.9)



エマによる、季節行事の体験記。花見、お盆、運動会、お正月などの機会に人々とふれ合います。

2年 | Enjoy Sushi (L.4)



日本の食文化を代表する寿司。飾り巻き寿司、柿の葉寿司など、地域の文化を英語で発信します。

2年 | My Dream (L.5)



職業についてのスピーチ。伝統を今に継承する花火師という仕事について、久美が語ります。

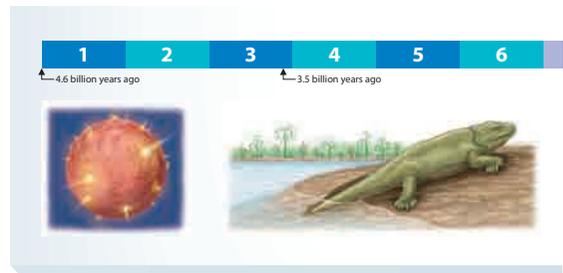
豊かな題材はコミュニケーションで最も重要なメッセージを生み出し、自ら考えたり判断したりする力を身につけ、主体的に学ぶ意欲を引き出します。

自然を理解する

2年 | A Calendar of the Earth (L.2)



地球の歴史は約46億年。人類がいかに新参者かを知る手だてとして、1年間のカレンダーにたとえます。



3年 | Finland — Living with Forests (L.2)



北欧にある森と湖の国、フィンランド。自然と共生する人々の生活と文化を紹介します。



1年 | Field Trip (L.4)



校外学習でキャンプ場へ出かけます。自然に囲まれて、環境のためにできることを考えます。

2年 | For Our Future (L.3)



各国代表の子どもたちが、地球環境の未来についてレポートします。温暖化やエネルギー問題など。

NEW CROWN こだわりの題材③



ことばのおもしろさに気づく

2年 | India, My Country (L.8)



出身国のインドについてラージが紹介します。いくつもの言語が飛び交う「多言語国」の姿が浮かびます。



学びを意識する

1年 | School Life in the USA (L.8)



アメリカの中学校生活を紹介します。カフェテリアでのランチやジャズの授業風景などが新鮮です。

3年 | My Favorite Words (L.1)



クラス目標の話題から、自分の好きなことばについてのスピーチへ。学年スタートの自己紹介にもなります。

2年 | Good Presentations (L.7)



図・グラフ・表などの視覚情報を上手に利用した、効果的なプレゼンテーションについて考えます。

3年 | English for Me (L.8)



登場人物たちが、3年間学んできた英語についての思いを、6人6様の寄せ書きにします。

3年 | We Can Change Our World (L.7)



アフリカ南部の国・マラウイで、一人の少年が、創意工夫の末に風力発電に成功する実話の物語。

LET'S READ

多様なテーマの読み物教材を取り上げ、
楽しく読む中で読む力を伸ばします



1年
Alice and
Humpty Dumpty



2年
A Pot of Poison



3年
Learning from
Nature

1年
A Girl Saved
Many Lives



2年
Landmines
and Aki Ra



3年
A Moment of
Peace



Further Reading

実態に応じて選んで使える、
補充的なリーディング教材です



1年
Little Mouse
Wants an Apple



2年
Costa Rica

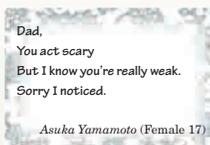


3年
Jimmy Valentine

2年
Zorba's
Promise



3年
Short Letters



3年
A Vulture and a
Child



We're Talking

実生活に結びついた場面が、英語をいっそう身近にします。

- ・生徒に身近な場面でのいきいきとしたやり取りを紹介します。
- ・典型的な「買い物」「電話」「道案内」は、3年間通してスパイラルに扱います。
- ・標準的な授業時間は1時間です。

We're Talking 7
電話をしよう

★会話する
◎確認する・読む

🗣️ 電話に掛ったエマが、ラージに電話します。

Words

Raj: Hello.
Emma: Hello. This is Emma.
Can I speak to Raj, please?
Raj: Speaking. What's up?
Emma: Can you help me with tomorrow's math

We're Talking 1
道案内をしよう

★道をたずねる・説明する
◎呼びかける・くり返す

🗣️ 道に迷っている海外からの旅行者に、久美が道案内をしています。

Raj: Excuse me. Could you tell me the way to the castle?
Kumi: Well, go down this street and turn left at the restaurant.
Raj: Turn left at the restaurant

We're Talking 4
買い物をしよう

★値段をたずねる・説明する
◎呼びかける

🗣️ 洋服が売店で買い物をしています。

Words

Yuka: Excuse me.
Do you have any caps?
Clerk: Yes, we do.
How about this one?
Yuka: I like it. How much is it?
Clerk: It's five dollars.
Yuka: OK.

Talking Point

How much is this cap?
Clerk: It's five dollars.

Trends

1. 次の語句を使って、買い物会話を練習しよう。

2. 🗣️ をペアで演じよう。

this cap / five dollars this shirt / ten dollars this dish / six dollars these pencils / one dollar

52 My-Info

小学校外国語活動との接続

Get Ready

● 1年の冒頭には、Get Ready (1~4) を用意しています。

・この段階では、単語(つづり)を学習する必要はありません。「音」と「文字」が学習対象です。

● Get Ready 1 コミュニケーションの大切さを確認します。

Get Ready 1 コミュニケーションを楽しもう

● 英語を聞いて、どの場面が選ぼう。

1

2

3

6 six

リスニング・スクリプト

Ken: Good morning, Ms Brown.
Ms Brown: Good morning, Ken.
Ken: How are you?
Ms Brown: Fine, thank you. And you?
Ken: I'm fine too. Thank you.

リスニング・スクリプト

Man: Excuse me. Where is the station?
Kumi: Go straight. Turn right at the shop.
Man: Go straight and turn right. Thank you.
Kumi: You're welcome.

リスニング・スクリプト

Raj: Do you have a red cap?
Woman: Sure. Let me see. How about this?
Raj: I like it. How much is it?
Woman: 900 yen.
Raj: OK.

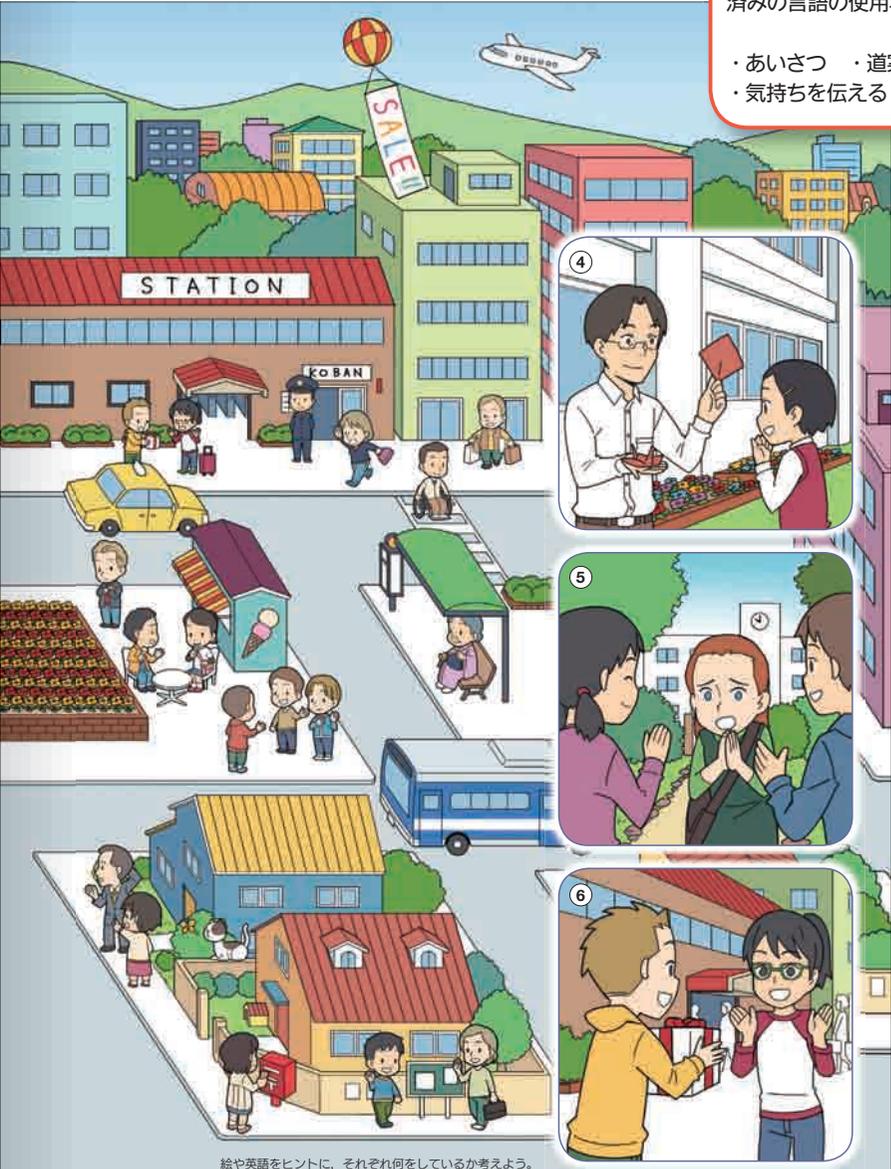
Get Ready 1~4 の標準的な授業時間は、1見開きで1時間です。

● 小学校で育まれたコミュニケーション能力の素地を確認できます。

・音声のやり取りで、小学校での体験活動をふり返り、生徒のレディネス(準備度)を図ります。

リスニング活動から入ります。小学校外国語活動で体験済みの言語の使用場面や動きを取り上げて確認します。

- ・あいさつ ・道案内 ・買物 ・事実を伝える
- ・気持ちを伝える など



絵や英語をヒントに、それぞれ何をしているか考えよう。

リスニング・スクリプト

Meiling: What is this?
Mr Oka: It's origami. It's a crane.
Meiling: Nice!



リスニング・スクリプト

Emma: Hi, everyone. I'm late. I'm sorry.
Boy: Don't worry.
Girl: OK. Let's go.



リスニング・スクリプト

Paul: This is a present for you.
Yuka: Thank you.
Paul: You're welcome. Good luck in Canada.
Yuka: Thank you. See you.
Paul: Good bye.



Get Ready 2 登場人物たちの自己紹介を聞きます。

Get Ready 2 友達になろう(1)

◎3年間一緒に学んでいく仲間です。名前や好きなものを聞いてみよう。

Tanaka Kumi
田中 久美

table tennis, running, soccer, tennis, basketball, skating, swimming, judo, volleyball, baseball

Paul Green

My Box

あなたの好きなものを書いてみよう。

Yang Meiling
楊 美玲

rice, (miso) soup, yogurt, pizza, steak, fried rice, sushi, salad, spaghetti, bread, gratin

Raj Shukla
राज शुक्ल

cereal, nan, curry, kimchi, milk

タッチングゲーム
先生が食べた英語(単語)やアルファベットにあたる絵を指せよう。
キーワードゲーム/キーボードゲーム
① 友達とペアになり、それぞれ、友達の名前と同じゴムを指せよう。
② キーワード/キーボードゲームを決めよう。
③ 先生が食べた英語のあとに続けて、発表しよう。
④ キーワード/キーボードゲームが発表されたら、同じゴムを指せよう。

タッチングゲームやキーワードゲームなどしよう。

My Box

8 eight

小学校で慣れ親しんだ
語いや表現がたくさん
散りばめられています。

- ・ スポーツ
- ・ 食べ物, 飲み物
- ・ 野菜, 果物 ・ 動物

リスニング・スクリプト

Kumi: Hello. My name is Tanaka Kumi. I like basketball. Let's play basketball.

Paul: Hi. My name is Paul Green. I'm from the USA. I play soccer. Do you like soccer?
以下略

友達になろう(2)

Kato Ken
加藤 健

grapes, green peppers, tomatoes, pineapples, turnips, apples, lemons, oranges, carrots, eggplants, bananas

My Box

Emma Simmons

elephants, monkeys, giraffes, tigers, bears, horses, hippos, lions, koalas, camels, kangaroos, gorillas, pandas, rabbits, penguins, dogs, cats, birds

My Box

友達とペアになって、自分の名前と好きなものを指し合おう。

単語は小学校で慣れ親しんだものばかりですが、この段階で単語（つづり）まで身につける必要はありません。

Get Ready 3 「音」と「文字」が学習の対象になります。

Get Ready 3 アルファベットを覚えよう

●英語のアルファベットを聞いて、発音しよう。
●下の0~9の英語を聞いて、共通点を考えよう。
①AJK ②bcdegptvz ③IY ④uqw

Mr. Ota

Q q W w E e R r T t
A a S s D d F f G g
Z z X x C c V v B b

Y y U u I i O o P p
H h J j K k L l ; ; : :
N n M m , , . . ? ?

実際に書くときの例

ABCDEFGHIJKLM
abcdefghijklm

NOPQRSTUVWXYZ
nopqrstuvwxyz

●アルファベットも、大文字・小文字の特徴に注意して書いてみよう。
●アルファベットで自分の名前を書いてみよう。

Aは牛の頭の形からできたのね。
Mは涼の形だったんだ。

VIDEO CD DVD VCR
P 空欄

身の周りのアルファベットを探そう。

ABCDEFGHIJKLMN OPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklm nopqrstuvwxyz
ABCDEFGHIJKLMN OPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklm nopqrstuvwxyz

●上は正字のみの表示です。

12 twelve

thirteen 13

音声に着目させながら文字を導入します。

文字を身近に感じることで「書くこと」に慣れ親しみます。

Get Ready 4 「音」と「文字」の関係に気づかせます。

イラストとつづりを見ながら、英語の音と文字の関係についての興味・関心を高めます。

Get Ready 4 単語の音とつづりに親しもう

●英語を聞いて、絵を指できそう。
●英語を聞いて、発音しよう。
●リズムに合わせて書いてみよう。

astronaut astronaut
boy boy
car car
doctor doctor

hippo hippo
ink ink
juice juice

omelet omelet
pudding pudding
question question
rice ball rice ball

vet vet
window window
box box

elephant elephant
father father
girl girl

kitchen kitchen
lunch lunch
mouth mouth
name name

singer singer
tissue tissue
up up

yo-yo yo-yo
zoo zoo

英語を聞いて、音と文字に注意して書いてみよう。

(1) ink singer window hippo
(2) lunch up

Ms. Brown

14 fourteen

fifteen 15

1年—LESSON 1~3

●音から文字へ。体験から学習へ。中学校の英語学習のスタートです。

・このページから、文法や単語などの学習が始まります。

小学校で慣れ親しんだリスニング活動からレッスンの導入を図ります。

右ページの本文を含む類似的やり取りを3つ聞くことで、リスニングのインプット量を豊かにします。

リスニング・スクリプト

No.1

Ken: Hello, I am Kato Ken.
 Meiling: Excuse me?
 Ken: Ken. K-E-N.
 Meiling: Ken. I am Yang Meiling.
 Ken: Nice to meet you, Meiling.
 Meiling: Nice to meet you too, Ken.

No.2

Kumi: Hello, I am Tanaka Kumi.
 Paul: Excuse me?
 Kumi: Kumi. K-U-M-I.
 Paul: Kumi. I am Paul. Paul Green.
 Kumi: Nice to meet you, Paul.
 Paul: Nice to meet you too, Kumi.

No.3

Emma: Hello, I am Emma Simmons.
 Kumi: Excuse me?
 Emma: Emma. E-M-M-A.
 Kumi: Emma. I am Tanaka Kumi.
 Emma: Nice to meet you, Kumi.
 Kumi: Nice to meet you too, Emma.

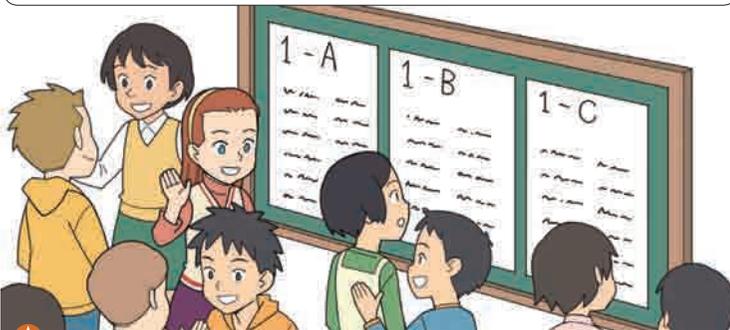
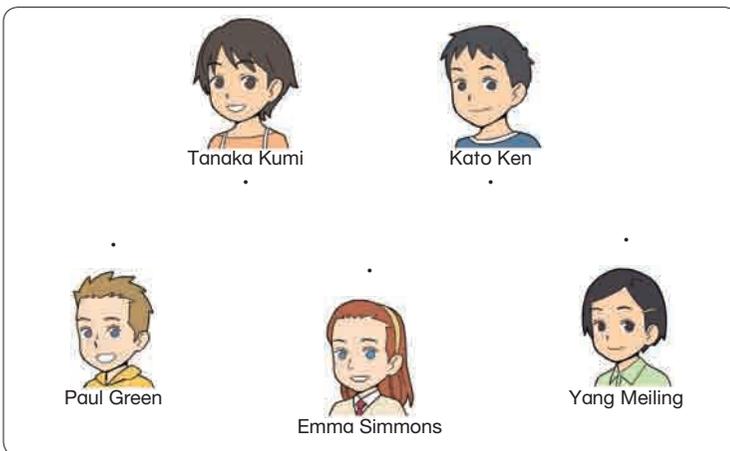
リスニングに含まれる基本文のしくみに着目します。文のしくみを理解した上で、再度リスニングにチャレンジして内容理解を確かなものとします。

LESSON 1 I am Tanaka Kumi

GET Part 1

●中学校での生活が始まり、久美たちが他のクラスメートとあいさつをしています。

聞いてみよう👂👄 会話を聞いて、だれとだれがあいさつしているのか、線で結ぼう。



●「私は～です」

I am Tanaka Kumi.

文法の要点 p.42

1年のLESSON 1~3はこのページ構成です。標準的な授業時間は、1見開きで1時間です。

● 4技能を総合的に使って、英語のしくみをしっかり身につけます。

・「聞くこと」からスムーズに導入します。

この講で学ぶこと

- あいさつの仕方を知る。
- am / areを理解し、使う。
- 自己紹介をしたり、気持ちや状態を伝えたりする。

Kumi: Hello, I am Tanaka Kumi.

Paul: Excuse me?

Kumi: Kumi. K-U-M-I.

Paul: Kumi. I am Paul. Paul Green.

Kumi: Nice to meet you, Paul.

Paul: Nice to meet you too, Kumi.



 Words

I
am
hello
excuse
me
nice
to
meet
you
too
Excuse me?
Nice to meet
you.

Paul Green
ポール・グリーン(人の名前)

Emma
Simmons
エマ・シモンズ(人の名前)

Yang Meiling
ヤン・メイリン(人の名前)

左ページのリスニング活動ですでに聞いている本文を読み、音から文字へとつなぎます。

学習した文法や語いを使って簡単な活動をし、定着を促します。

話してみよう  ペアになり、例にならってあいさつしよう。そして相手の名前をメモしよう。

例 A: Hello. I am Ken, K-E-N.

B: Hello. I am Emma, E-M-M-A.

書いてみよう  下の例にならって、大文字・小文字に注意し、自分の名前を紹介する文を書いてみよう。

●文の最初の文字は大文字にする(ただし、Iは文中でも大文字)。

I am Tanaka Kumi.

●文の終わりには、「。」(ピリオド)をつける。

●人名・地名の最初の文字は大文字にする。

●単語の間は小文字1つ分くらいあける。

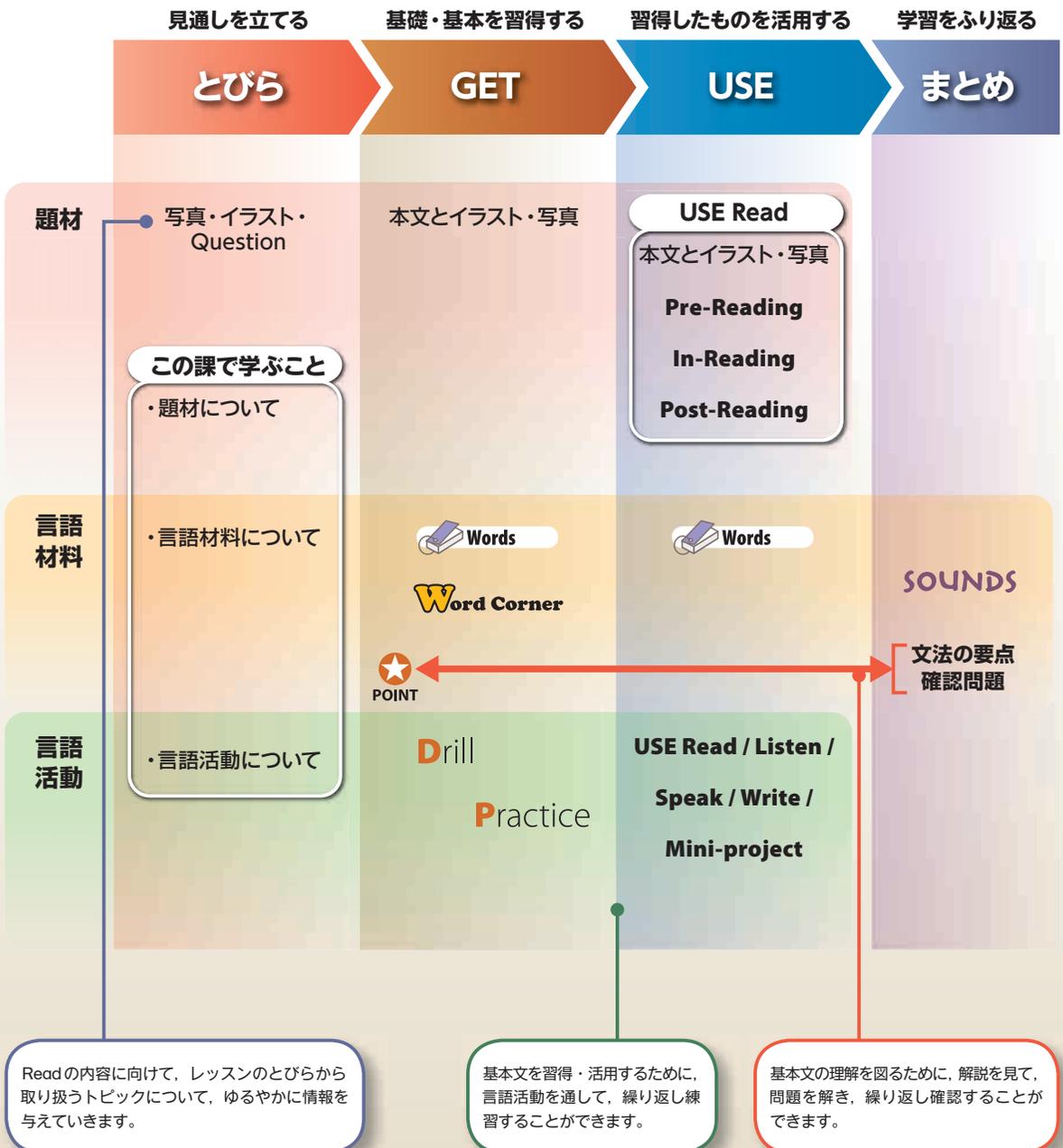
▼日本人の名前を英語で表現するとき、①日本語と同じように「姓+名」とする言い方と、②英語圏での言い方に合わせて、「名+姓」とする言い方の2通りがあります。この教科書では①を使います。

自立的学習のサポート

生徒たちに主体性を持たせ、生徒の発達段階や個に応じた「学び方」「わかり方」—自立した学習を身につけさせるために、さまざまなしかけをしてあります。そして、個々の生徒の理解の程度に応じた指導ができます。

● 学びのプロセスがわかりやすい!

わからなかったところ・間違えたところは、基本文とその解説を読んで確認し、あらためて言語活動で練習し、自ら克服することができます。



語い数・指導時数・文法の配列について

語い数

必修語（最重要語・重要語）約1,200語を精選しました。

	①最重要語	②重要語	①+②合計	その他
1年	346	197	543	57
2年	162	236	398	49
3年	59	235	294	93
合計	567*	668	1,235	199

* ①の最重要語は500語です。この中に含まれる不規則動詞の過去形・過去分詞形などもカウントして567になっています。

指導時数

週4時間（年間140時間）の中で、余裕をもって授業を進められます。

3学期制の場合（〔 〕は2学期制の場合）

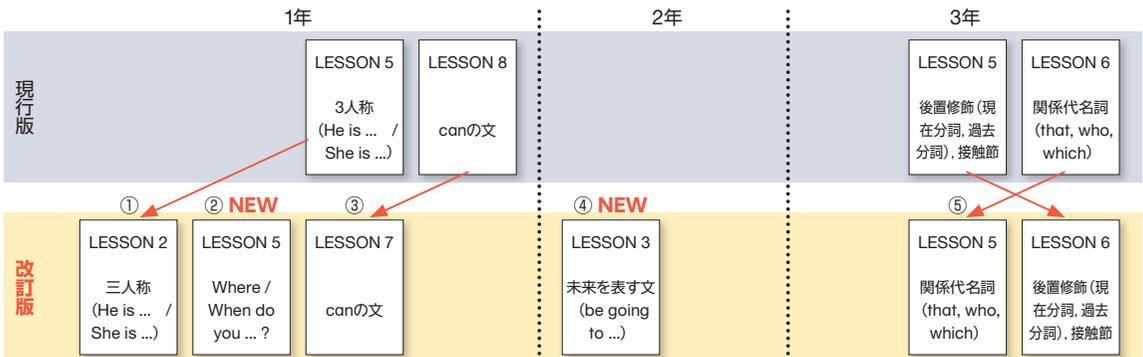
	1学期	2学期	3学期	合計
1年	32 [43]	43 [45]	13	88
2年	36 [45]	37 [42]	14	87
3年	35 [43]	37 [42]	13	85

おおよその目安となる時数です（選択的な扱いの部分は除く）。

Try や巻末付録資料などを活用することにより、柔軟な時数の扱いができます。

文法の配列（平成18年度版からの変更）

小学校外国語活動の導入や、指導時数の増加に伴い、新たに基本文として取り上げたり、学習時期を変更したりして、学習者がより理解しやすいように配列しました。



- ① be動詞のisに関わる表現や活動を、現行版より少し早い段階でまとめて取り上げました。
- ② where / whenを重要な疑問詞として位置づけ、新たに基本文として取り上げました。
- ③ canの文を現行版より少し早い段階で扱いました。
- ④ 未来を表す文として使用頻度の高いbe going to ~ を、新たに基本文として取り上げました。
- ⑤ 関係代名詞を后置修飾・接触節の前に学習できるよう配置しました。

平成24年度版 NEW CROWN Q&A

● 1,200語の選択の基準は？

主要辞書の頻度ランクや、学習者コーパスなどの各種データを利用して、「今後英語を使う上で頻出するため、初級の段階で覚えておくべき単語」と「中学生の日常生活を考えたときに、表現したい確率の高く、覚えておきたい単語」について分析しました。その中から頻度の高い順より、「最重要語」「重要語」「その他の語」のランク付けをし、Words欄の点線の上に、最重要語は太字、重要語は並字で、点線下にその他の語を並字で明示しました。

● 分量が多いのでは？

新しい学習指導要領では、週の指導時数が3時間から4時間へと変更になります。また、教育行政側からも「質・量ともに格段に充実した教科書」を求める提言がなされてきました。新しいNEW CROWNはそれらに対応するために、全体として現行版から約2割の増量を図りました。

現行の学習指導要領下では教科書をこなすのも時間的に厳しい、といった声が聞かれることもあります。そこで、「各学年のLESSON数は増やさない」、実態に合わせて弾力的に運用できる「活用や付録部分を増やす」、さらなる増量に応えられるよう「必修ではない選択的な位置づけのTryや付録を増やす」ことで、さまざまな要望に柔軟に応えられるようにしました。

また、原則として1見開き2時間を想定したパート構成とし、1年88時間、2年87時間、3年85時間と、年間140時間のうちの60%強の時間配当で、余裕を持って取り組めるよう配慮しました。

● Mr. Mrs. Ms.などの省略記号やtoo, thenなどの前のコンマがないのはどんな意図があるのですか？

教育的配慮からです。イギリス英語ではMr./Mrs./Ms.の省略記号(.)はつけないのが普通です。tooやthenの前のコンマは、英米ともに両方の用法が見られます。学習上の負担を少しでも軽くすることを考えて、省略記号やコンマをつけない用法に統一しました。

● 2年の受け身は3年で学習してもよいのでは？

受け身形には動詞の過去分詞形を用いますが、この過去分詞形は学習者にとって負担の大きい学習項目です。受け身形の文のしくみや概念と同時に、不規則変化のある過去分詞形をも学ばなければならないということで、ていねいに扱うべき項目と考えました。

3年になるとすぐに現在完了形が出てきますので、過去分詞形に慣れておくために、2年の最後に受け身形を配当し、さらに3年のLESSON 1で復習として受け身形を扱い、ていねいに繰り返しながら定着を図ることができるよう配慮しています。

● GETの本文とUSE Readの本文の違いは？

GETの本文の目的は文法の導入や習得です。ポイントとなる英文にコンテキストを加え、ポイントの文がどのように使われるかを示した英文だといえます。また、生徒が暗誦したり、自分に合わせて語句を入れかえたりして、表現活動に結びつけるためのモデルとなる英文でもあります。そのため、GETの本文は1年から3年まで1つ30語前後で構成されています。

USE Readでは、英文を一字一句までを吸収する必要はなく、読む作業を通して習得した文法事項の復習や定着を図ります。つまり、読むことに特化した活動を行うことができる、いわば「読むため本文」といえます。この本文では、読むスキルを育成するためのトレーニングや、現実世界で行う読みのリハーサル・シミュレーションができるようになっています。

授業をサポートする NEW CROWN の 指導書・指導用教材・生徒用教材



教科書

指導書・指導用教材

生徒用教材

その他

指導書

●Teacher's Manual

- ①解説編…教科書の内容解説。
- ②指導編…指導案と指導に役立つ資料。
- ③Team-Teaching Manual…ALTとのT-Tや、All Englishで行う授業の参考に。
- ④ワークシート集…コピーして使えるワークシート。
- ⑤Teacher's Book…教師用指導書のエッセンス。
- ⑥指導用音声CD+指導資料用CD-ROM…CDには教科書のリスニング音声、CD-ROMには授業計画やワークシートなどのデータを収録。

指導用教材

- 指導用CD…テキスト付き。教科書完全準拠の音声CD (T-Fなども収録)。
- ピクチャーカード…教科書の場面を追加のイラストや写真とともに大型のカードに。
- フラッシュカード…新出の全単語・句を収録。カード裏には日本語訳を収録。
- DVDソフト…教科書の場面の再現映像と、題材の理解を深める資料映像。
- デジタルテキスト…デジタル教科書。電子黒板に対応し、授業に必要な指導用教材を一体化。
- アクティビティ・アイデア集…コミュニケーション活動を活性化するためのアイデア集。
- リーディング・アイデア集…教科書の題材をさらに深める読み物(文法強化編とトピック編)。

生徒用教材

- リスニングCD(テキスト付き)…教科書の本文と新出単語の読みを収録。
- リスニングCDデラックス版(テキスト付き)…リスニングCDに基本文などの読みや英語の歌などを追加収録。
- ワークブック…セクションごとに語い・文法・語法などの基本問題を、各課ごとに総合問題を収録。
- ドリルブック…各課・セクションの基本文型・単語を取り上げ、集中的にドリル練習できます。
- 補習ノート…基本文を中心に、「読む」「書く」作業を通して基礎を身につけるための練習帳。
- ペンマンシップ…楷書体を中心に、アルファベットから英文の書き方を系統的に練習できます。
- 実力アップ問題集(CD付き)…教科書の内容に関する基礎的な力をつけるための総合問題集。リスニング問題も収録。
- 英語の基本文型(暗記用シート付き)…文型・文法の定着が目的。例文を暗記・活用するための整理帳。
- 英単語集(暗記用シート付き)…教科書に出てくる単語を本文の例文とともにすべて収録。
- ジョイフルリーディング…中学生の言語材料に合わせた読み物を集めました。読む活動の補充に最適。

●TEACHING ENGLISH NOW…英語教育の今をとらえる総合情報誌。

●ワークシート類

●辞書…初級クラウン英和辞典, 初級クラウン和英辞典, 初級クラウン英和・和英辞典

平成24年度版 NEW CROWN は…

昭和53年初版以来、NEW CROWNは、人間尊重の精神を基に、人権、平和、ことば、社会、環境などを題材として取り上げてきました。また取り扱う国や地域、登場する人物（民族）、そして男女の偏りがないように編集してまいりました。平成24年度版も、これらの考え・方針を守りつつ、さらに以下の点に配慮し、生徒がだれでも使いやすい教科書づくりをしています。

カラーユニバーサルデザイン

人間の色の見え方は一通りではありません。教科書に示す解説・指示・設問などの情報は、生徒の色の見え方の違いによって有利不利の差が出ないように配慮されなければなりません。

平成24年度版 NEW CROWN は、次の点に配慮し編集しています。

- 識別しにくい配色は避け、また形や記号・番号（活動内容併記）、説明文（色名併記）などの補助的な手がかりを設ける。
- 色だけが手がかりとなる問いは設けない。
- 色の濃淡や罫線などの工夫を凝らす。

拡大教科書の作成

弱視の生徒たちの学習上の負担を減らすために、文字の大きさや書体、絵・写真などに配慮した、よりよい拡大教科書を作成します。

環境にやさしい紙と植物油インキの使用

環境の保護、資源の節約のため、原料や製法に配慮した、環境にやさしい紙を使用しています。また食用の大豆から作られる油のほか、非食用とされる植物由来の植物の油、及びそれらを主体とする廃食用油をリサイクルした再生油を包含した、印刷インキ工業連合会認定の植物油インキを使用しています。



● 著作者

高橋 貞雄
Thomas Hardy

根岸 雅史
日暮 滋之
松沢 伸二

齋藤 榮二
高梨 庸雄
森住 衛
渡邊 時夫

北川 達夫
堀田 龍也

青柳 有季
荒尾 浩子
池野 修
今井 裕之
大島 希巳江

岸本 映子
工藤 洋路
酒井 英樹

坂本 口ピン
佐野 富士子
椎名 紀久子
重松 靖

杉本 薫
竹内 理

田嶋 美砂子
立花 千尋

田中 武夫
田邊 祐司

津田 雅子
鳥飼 慎一郎

中村 貴美子
見上 晃

室井 美稚子
望月 正道

森 千鶴
山本 崇雄

横川 博一
吉田 晴世

Lynne Parmenter
株式会社 三省堂

玉川大学
慶応義塾大学
東京外国語大学
玉川大学
新潟大学

京都外国語大学
弘前大学名誉教授
桜美林大学
信州大学名誉教授

日本教育大学院大学
玉川大学

東京学芸大学附属小金井中学校
三重大学
愛媛大学

兵庫教育大学
文京学院大学
元大阪市立港南中学校

東京外国語大学
信州大学

杏林大学
横浜国立大学

千葉大学
国分寺市立第三中学校

東京都立両国高等学校附属中学校
関西大学

星美学園中学校・高等学校
長浜バイオ大学

山梨大学
専修大学

練馬区立豊玉中学校
立教大学

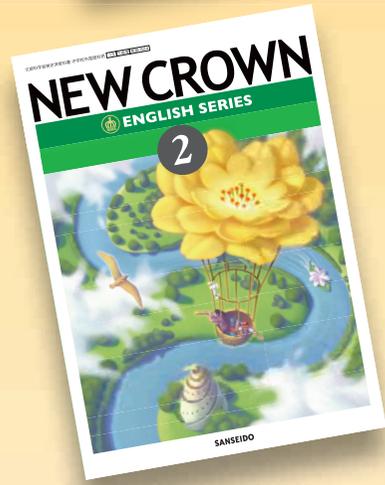
世田谷区立梅丘中学校
拓殖大学

清泉女学院大学
麗澤大学

福岡教育大学
東京都立両国高等学校附属中学校

神戸大学
大阪教育大学

マンチェスター・メトロポリタン大学



平成24年度版中学校教科書Webサイト

<http://tb.sanseido.co.jp/24/>

三省堂

〒101-8371 東京都千代田区三崎町2-22-14 電話03-3230-9411 (編集)・9551 (営業)

●大阪支社 〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地2-5-3 電話06-6341-2177

●名古屋支社 〒460-0008 名古屋市中区栄3-25-43 瑞穂ビル4F 電話052-252-9211・9212

●九州支社 〒810-0012 福岡市中央区白金1-3-1 電話092-531-1531・1532

●札幌営業所 〒060-0042 札幌市中央区大通西15-2-1 ラスコム15ビル3F 電話011-616-8722